

地球の木

地球上のすべての人たちと共に生きたい

schedule

| | |
|-------|---------------------|
| 8月22日 | 来日 |
| 24日 | ウェルカムパーティ |
| 25日 | 親子企画「ネグロスからの風」 |
| 26日 | 鎌倉散策 |
| 27日 | 青少年一泊ワークショップ |
| ~28日 | (野島・青少年研修センター) |
| 29日 | 「ネグロスからの風」(みどりセンター) |
| | 地球の木「交流会」 |
| 31日 | 帰国 |

ネグロスから
ラリーさんがやってきた

ラリーさん 招聘楽遊委員長 広瀬康代

8月22日、支援地フィリピン・ネグロス島から、現地NGO、PAP21のワークショップ担当のラリー・ギリエマさんが来日しました。

ネグロスにスタディツアーに行った人たちは、「今まで、こんなに心の筋肉運動をしたことがなかった」と何かを得て帰ってきます。本当は、みなさんにネグロスに行って欲しいのですが、多くの人にラリーさんのワークショップを体験してもらうために、今回、日本にお招きしました。

短い間でしたが、多くの人々の協力を得て、フォーラム・アソシエとの親子企画、青少年ワークショップ、地球の木との交流会などのプログラムを無事に終えることができました。

次回は、みんなでネグロスに行つて現地の人と一緒にワークショップを体験しましょう。

(ご協力いただいた日本ネグロスキャンペーン委員会の皆様ありがとうございました)



シンプルな竹の楽器で、絶妙なコラボレーション

8月25日★夏休み親子企画★

『ネグロスからの風』に参加して

★台風の接近にもかかわらず子ども12人と親やサポーター合計22人で、ネグロスの地理やパラゴンバナナの話の聞いたり、楽しくゲームをしたりしました。ゲームが終わるごとに、ラリーさんが、「今の気持はどんなですか?」と聞いて子どもや大人に感想を求めます。「楽しい」「面白い」「友達になれた」。ゲームに勝つために協力したからとか、楽しいのも皆がお友達になれた気持を感じたからと、参加者が気付いていくのです。自分の気持を表現することで自己認識を確認するとともに他の参加者にも自分の思いを伝えられる。これってコミュニケーションですね。

最後は竹製の民族楽器を触って音を出しました。癒されるような音色でした。40数年前フィリピンで経験した竹製の家の快適さを思い出しました。(鍋島 那津子)

★ラリーさんが子ども達を見つめる目は優しいと思いました。子ども達は宝物ですね。大切にしていきたいですね。このようなつながりを。 (伊藤ひとみ)

★ことばは通じなくてもボディラングージでお互いが通じることがすばらしい。

profile



ラリーさんのプロフィール

デザイナー、画家、俳優、ミュージシャン、子どもラーニングセンターの先生 . . . 彼を一言で紹介することは難しい。学生の頃は、反マルコス運動にかかわり、拷問された経験も持つ。サリサリハロハロな、人なつっこい、パワフルなフィリピン人。現在37才。

8月27日～28日
★青少年ワークショップ★



自然の中でネグロスを感じる

♪こころがやわらかくなるような体験

1日目、残暑がきびしい日でしたが、10時過ぎ野島青少年センター前の公園の大きな木の下でワークショップがスタートしました。最初は、中学1年生から大学生までの6人の青少年の参加者たちを含む12人程の輪でしたが、午後になると遅れてやってきたネグロス青少年スタディツアーの体験者たちが何人か加わり、にぎやかになってきました。緊張していた初めての参加者たちも、昼過ぎに場所を室内に移す頃には皆すっかりうちとけて笑顔があふれていました。

私も午後はワークショップに仲間入り。いろいろなゲームを通して、自然に自分を表現できてしまいます。そしてまわりの人たちともうまくコミュニケーションがとれるようになります。何だかこころがやわらかくなっていくようでした。気がつくときすっかり輪の中にひきこまれていました。これが「ラリーマジック」なんです。

ラリーさんは、実にゆったりと参加者たちを見守ってくれます。ワークショップの間、決して人をせかしたり、制したりするということなく、みんなの動きやようすを大切に、ほっといてくれるのです。のんびりとしたそのテンポは心地よいものでした。そしてその合間にラリーさんはギターをひとり奏でます。そう！そこにあるのがまさにネグロスの空気だと思いました。

この1泊2日のワークショップを、過去7回のネグロス青少年スタディツアーに参加した多くのメンバーたちがいろいろとお手伝いをし、支えてくれました。また地球の木ユースクラブの人たちの力もとても頼もしいものでした。ワークショップの貴重な体験と共に、地球の木をこれからきっと支えていってくれるに違いない若者たちにも出会えた嬉しい時間でした。

(広報チーム 沼田 由美子)



みんなのびのびと…

♪私の得た大切なもの

ワークショップで行ったゲームは全て面白かったです。楽しんでやっているのだけど、やったこと全てに意味があって、人間関係、感情表現、人生の中の困難など、普段考えない事をたくさん考えました。生きている上で何が大切か、生きていれば必ずあって、解決が必要な事を参加者皆で考えあい、意見をシェアし、自分の考えを広げられたと思います。

私が困難にあった時、ラリーさんとのワークショップでやったことを思い出して、立ち向かっていきたいし、2日間で得たものをいつも心に置いて生きたいと思いました。
(栗原 日女香 15才)



大きな家族になれた

8月29日★地球の木との交流会★

♪風は南から

穏やかな風が南から吹き、その風を運んできたのがラリーさん！やさしいまなざしの中に、厳しいネグロスで生きてきた力強い意志と願い、そんな彼の気持ちが感じられるワークショップでした。

ワークショップに参加したのは20人ほど、3グループに分かれての競争です。“生まれ月、誕生日、子どもの数など”和気あいあい、“年齢順、ウエスト順??”言いたくない、絶対！大爆笑、和やかな時間が流れました。すまし顔の隣同士が大接近。これからは人生もっと気軽に、おあらかにやっていけそうです。

ティータイムに、彼の生い立ちや現在の活動について聞き、彼の元気の源である奥さんと4人の子どもの写真を見たりして、他人を認め思いやりながら毎日を過ごしていく大切さを感じました。

最後にネグロスの「カラバオの歌」と「翼をください」を皆で歌い、青少年ワークショップに参加した若者たちが作った歌「世界が愛と平和でみだされるように」をユースクラブのメンバーが澄んだ声で歌ってくれました。

♪・・・みんなが私を幸せにしてくれる 私もみんなを幸せにしたい・・・♪心の中でうなずいた交流会でした。

(広報チーム 柏柳 妙)

ラリーさんありがとう！
次はネグロスで会いましょう